

放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名

平戸市療育支援センターあつかさん2 1

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------------------------------|--|---|----|---------------|-----|--|
| 環境 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 3 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | | 3 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | | | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 3 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 3 | | | ・回収率はなかなか伸びないが、ご意見を基に、今後結果を踏まえ、活かしていきたい |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 3 | | | ・公開しているが知らない方も多いため広く周知していきたい。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | 3 | | ・新人研修以外は出向くことが困難。今後リモートなどにも取り組みたい。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 3 | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | 3 | | ・マンネリ化しないようにと思うが、ある程度のベースに沿って行っている |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | | | ・通年一時間の利用のため、曜日に影響されない。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | | 3 | | ・集団の中で個々に合った支援を行っている。 ・季節感や楽しみは取り入れるようにしている |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | | | |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 3 | | | |
| | 18 | 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 3 | | | ・個人面談以外にも希望があれば、相談を受けるようにしている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | 3 | | | ・今後もしっかりと取り組みたい |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | | | ・児発管が参加し、伝達することで共通認識を持てるようにしている。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | 3 | | ・見学の依頼や、情報共有、助言が欲しいなどの依頼に対応している。今後も連携を深めていきたい |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 3 | | ・対象児がおらず前例がない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 3 | | | ・児童発達支援から移行する利用児が多いため、就学前後の情報交換を行っている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | 3 | | ・対象児がいる場合は対応していきたいが、対象が小学生までのため就労までのフォローは出来ていない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか | 3 | | | ・新型コロナの感染予防のため、中止になった回があった。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 3 | ・母子通園一時間療育のため、他事業所との交流は行っていない。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | | | ・可能な限り、行政の要請があれば参加して情報交換や共有に努めている |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 3 | | | ・療育時はなかなか話す時間が取れない。活動の説明や相談に応じるなどペアトレを行えるようにしたい |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 1 | 2 | | ・人員不足のため時間が取れず、また十分なペアトレを行う為の経験者が少なく対応が難しい。 |
| 保護者への説明責任 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 1 | 2 | | ・人員不足のため時間が取れず、また専門的な立場から助言出来る経験者が少ない。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | 3 | ・交流の要望はあるので、場所の提供など交流のベースを作ったが利用者が少なかった。現在は自粛と空き時間がないため中断している。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|--|
| 等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 3 | | | ・苦情はないが、受け箱や担当など、体勢は整えている |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 3 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 3 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 3 | ・消防訓練などは外部が入るが、それ以外の交流は行っていない。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | | | ・掲示しているが、なかなか知られていない。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 3 | | | ・行っており、様子などを貼っているが、知らない方も多い。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | | | ・代表が研修に参加し、伝達講習を行っている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | 3 | ・対象児なし |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | 3 | ・事前にアレルギー・既往歴の確認をしている。 ・給食の提供はないが、クッキング等を行う際は、保護者に確認している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | | 3 | ・事例集は作成していない。今後は不測の事態に備え、事例を基にした訓練も実施していきたい |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。